

2013年岡山市議会 2月議会個人質問

日本共産党 河田正一

I.岡山市の教育について

全国学力・学習状況調査(学力テスト)における順位やいじめ不登校の最下位など岡山の教育の在り方に保護者や市民は大きな関心を払わなければならない状況に陥っています。奇しくも第2次安倍内閣は「教育再生」を目玉の一つに掲げ、第1次安倍内閣が行った「教育基本法」改悪を施策として実行しようとしています。岡山市でも教育基本法で努力義務とされている「教育振興基本計画」を示しました。また、学校適正規模化を進める方向が示されました。こうした教育をめぐる重大な岐路にあると感じ、岡山市の教育について基本的なことを含めお聞きします。

1 教育委員会の役割について

(1) 教育委員会の機能と権限

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条1項第3号及び第34条には教育委員会の職務権限、職員の任免が書かれています。どう書かれていますか。

(2) 教育基本法の精神を一言でいうと、どのようにとらえていますか。教育委員長のお考えを聞かせてください。

(3) 教育委員会は施策を一方的に学校現場に押し付けているのではないかという声を聞きます。教育委員会はどのようにして学校現場と円滑なコミュニケーションを取るようになっているのでしょうか。

(4) 地方分権との関わりで、市教委の独自性はどのように発揮してきましたか。

(5) 「ゆとり教育」が見直されることになりました。「ゆとり教育」に対する評価をどのようにしていますか。「ゆとり教育で」授業時間数、教育内容が減ったことに対し、市教委として欠陥部分を補おうとするような対応をされましたか。

(6) 学区弾力化により、いわゆる「過小規模校」はますます生徒数が減る現象が起きています。学区弾力化に対する評価はどのようにされていますか。

(7) 中高一貫教育が始まり、操山、大安寺など一貫校となっています。また、これらの学校は子供たちや保護者からのニーズが高いと聞いています。しかし一方、公立中学校にリーダーとなれる人材が不足し、学校運営に難しさをきたしているとの声が学校現場から聞こえます。中学校において、早々と有為の人材を集め、英才教育をすることは、教育の公的性格からして問題であると思います。公教育の性格について、どのようにとらえていますか。

(8) 県立高校の自己推薦入試が2014年から廃止されることになりました。かねてから、「自己」責任とさせられる。自己推薦を目的とした中学校生活となり、よい子競争が展開されるなど弊害を心ある人々は指摘してきました。廃止がされるにあたってのご所見をお示しく下さい。

(9) 学力テストにおける順位が大きくマスコミや政治家により取り上げられて、岡山の教育はどうしようもないんだとセンセーショナルに煽られています。生きていくうえで必要な学力とは何か。自分の進みたい道や夢に向って、進んでいくための必要な認識力・技術力のすべてが生きていくために必要な学力だと思います。その力は、その人の生活そのものから切り離すことはできません。基本的生活を作る生活土台、家族・仲間・地域の人々によってつくられる社会的土台、学習によってつくられる学問的土台、これらの土台の上に豊かな人間性が作られていくと思います。盛んに言われている数値化された「学力」は、学問的土台の一部を取り出して、それがあたかも学力のすべてであるかのように扱われています。ご所見をお示しください。

(10) 学校適正規模化についての基本的な考え方(案)

ア. 複式学級が増えている外周部の学校は適正な規模の教育環境を推進すると謳われています。複式学級の弊害・課題について、「人間関係が固定化し、学習意欲や行動意欲が喚起されにくい、また一度関係がこじれると修復がしにくい」と述べられています。とすると、適正規模の学校では人間関係が固定しないのでいじめなどは発生しにくいと受け取れます。「過小規模校」と「適正規模校」におけるいじめ・不登校・暴力の発生度合はデータとして表れていますか。

イ. 地域で子どもを育てるといふ、地域協働学校などの「市民協働の人づくり」の体制とは齟齬をきたすものではありませんか。

ウ. 「視野が狭くなりがちである」課題が「過小規模校」にはあると結論付けています。果して、「過小規模校」出身者が中学・高校・大学において「視野が狭くなりがちである」という追跡データがありますか。あればお示しください。

2. 岡山市教育振興基本計画・心豊かな岡山っ子育成プランについて

岡山市教育振興基本計画の計画推進は、岡山型一貫教育と地域協働学校が岡山の教育の2本柱にしています。

(1) 岡山市の目指す教育

ア. 「目指す子ども像」

「自立する子ども」を目指す子ども像として、「共に生きる」「豊かな人間性」「自分を高める」という3要素をバランスよく伸ばすとしています。言っている言葉はもっともらしく聞こえますが、では具体的には何をどうすれば、「人・もの・こと」との関わりを深めながら、学び続ける子どもの育成につながるのかが見えてきません。何をすることによって、「自立する子ども」を育てることが出来ますか。

イ. 「目指す教職員像」

教職員に、3つの資質能力、「教職に対する揺るぎない情熱」「教育の専門家としての確かな力量」「総合的な人間力」が求められるとしています。基本的には、教師の個人的資質に責任をかぶせてしまっています。個人の資質だけでは対応しきれないところに現在の学校が置かれているのではありませんか。教師の同僚性を培うことにより、困難な事例に対しても

学校園全体で対応できるのではありませんか。

ウ、「目指す学校像」

安全安心と絆の力を基礎とした「市民協働の人づくり」、「元気な子ども、元気な学校、元気なまち」を岡山型一貫教育と地域協働学校で作り上げようと謳っています。これによると、地域社会の責任で子どもの教育をやっていくように受け取れます。もちろん地域とのかかわりを否定する気はありませんし、地域住民の子どもを見守る姿勢は評価します。地域協働学校の取り組みによって、子どもたちにどのような変化が現れ、地域にどのような成果が表れましたか。

エ. しかし、子どもの教育の主体となる学校園の姿が希薄に感じられ、見えてきません。市教委はどんな学校像を抱いていますか。そのためにどんな施策を行っていますか。

オ、岡山っ子の自尊感情は高い傾向があり、暴力行為に至った背景を考慮するとともに、規範意識を育て、相手意識を高める機会の充実が重要とされています。道徳教育を行えば事足りるとは思えません。相手の立場を考える心の醸成にはどのようなことが必要であると考えますか。

カ、読解力・表現力に課題があると指摘されています。読書の習慣づけとともに、どのような対応が考えられますか。

キ、「岡山型一貫教育」とは何かわかりやすく説明してください。

(2)「共に生きる」

ア、人間関係を築く力、コミュニケーション能力の育成は、一日の多くを過ごす学校園の中で、望ましい集団生活を通じて経験を積ませる必要があります。発信力を強める教育スタイルにはどのようなものがありますか。

イ、暴力、いじめ、不登校、

①イラダチやムカツキ、不安感や抑圧感など子供がいじめに走る要因が強まっています。昨年大津市で起こったいじめ・自殺は、命の尊厳・人間の尊厳が最も大切にされなければならない学校教育がその原因になっていることに、誰もが心を痛めています。過熱気味の報道によって、学校・教職員・教育委員会のみを「悪」と指弾する立場に立ち、保護者・教職員・学校・地域が協力して問題解決に取り組みにくくなっています。公教育という国民から負託された教職員の立場で、命の尊厳・人間の尊厳をないがしろにしたり、暴力を当然視したり、責任逃れの隠ぺいやごまかしは許されません。いじめ問題解決のためには、教職員と保護者、地域と教育行政が一体となって取り組む必要があります。岡山市においては、いじめが発生した場合、どう対応することになっていますか。

ウ、体罰

大阪市立桜宮高校の体罰に端を発した先生の虐待・体罰は教育者としてはあるまじきことです。体罰は指導教師の未熟さの裏返しです。授業や部活動を通じて、体罰撲滅に向けての取り組みはどのようにしていますか。

エ. 橋下大阪市長は予算権限を使い、体育系2学科などの入試を取りやめさせました。このような措置は、教育委員会への市長部局からの介入であり、許されるべきではないと思

ます。市長、教育委員長の考えをお聞かせください。

(3) 幼保一元化・一体化について

ア、幼保一元化・一体化することで就学前教育が保育を必要とする子どもに質の高い保育を保障すると記されていますが、どのような理由で質を高めることになるのですか。

イ、この4月1日から試行するといっていた5つの幼稚園・保育園はどうされますか。

3. 教育予算について

ア、新年度予算では足守地区の小中一貫校建設、学校耐震化等のハード事業で約52億円が計上されています。ハード事業を除くと149億円になります。一般会計に占める割合は5.5%ということになります。前年度の予算と比較しどのような傾向が示されていますか。またこの傾向に対するご所見をお示してください。

イ、教員が子供と向き合う時間をとれるようにと、35人以下学級が新年度から実施される予定でしたが、自民・公明政権は予算をつけませんでした。伊原木知事も国が付けないからと予算付けを見送りました。

少人数学級実現について、岡山市として独自に工夫する余地は考えられませんか。

II. 産廃について

(1) 産廃の埋め立て量予測について

1月議会での私の質問に対し、環境局長は岡山県産業廃棄物処理計画のデータを持ち出し、産廃処分量は増加傾向をたどるといわれました。国や大阪府、兵庫県などが埋め立て量を見直し、縮減する計画をとる中で、岡山だけが増大するとの見方をするのは、どのような理由が考えられますか。

(2) 大阪府、京都府、兵庫県、岡山県の過去5年間の産廃最終処分場建設の許可状況についてお示してください

(3) 箕島処分場の超過容量搬出について

箕島産廃埋め立て量が25,000 m³超過していることを渡しが指摘して、4年がたちました。岡山市は業者の改善計画をすべて受け入れ、4年間で搬出してよいとしました。

ア、搬出状況はどのようになっていますか。

イ、4か年で撤去することになっていますが、3月末までに現地での測量を終わらせ、確実に超過量が撤去していることは示すことができますね。

(4) 御津河内産廃処分場設置審議会の終了について

1月7日に専門家による設置審議会が終了したと連絡がありました。住民が懸念している事柄について、市としては、十分説明できたと判断していますか。